

平成 23 年 10 月 6 日



### 重要科学技術史資料への登録のお知らせ

当社にて管理保管致しております、「金敷と金槌」および「3 本ローラー式ブルドン管成形機」が、独立行政法人国立科学博物館の重要科学技術史資料に登録されましたので、お知らせいたします。

.....

登録先：重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）

登録日：平成 23 年 9 月 27 日

登録物：①「金敷と金槌」（1896 年製作）

②「3 本ローラー式ブルドン管成形機」（1914 年製作）

登録理由：

- ① 和田嘉衡\*が試行錯誤の連続の中で、国産第一号のブルドン管圧力計を完成させた時に使用していた貴重な金敷と金槌である。
- ② 和田が創立した和田計器製作所が、それまで金敷と金槌を用いたブルドン管を、機械装置で作れるようにしたブルドン管成形機であり、ブルドン管発展史の時代を画する資料である。

\*当社前身の和田計器製作所（後に東京計器(株)）の創業者

◎ ご参考：重要科学技術史資料とは

「科学技術の発達史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つ科学技術史資料」および「国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えた科学技術史資料」の保存と活用を図るため、これらの資料を未来へ引き継ぐべき遺産として登録するもの。平成 20 年度より登録制度を実施し、本年の登録分を含めると 92 件が登録されています。

以下添付資料

- ・重要科学技術史資料
- ・登録証と楯の写真

## 国産ブルドン管圧力計の歴史的証人

登録番号	第 00075 号
名称 (型式等)	【 ブルドン管圧力計の成形機 】 (1) 金敷と金槌 (2) 3本ローラー式ブルドン管成形機
所在地	長野県上田市 長野計器株式会社 テクニカル・ソリューションズ・センター
所有者 (管理者)	長野計器株式会社
製作者(社)	(1) 和田計器製作所 (2) 株式会社 東京計器製作所
製作年	(1) 1896年 (2) 1914年
選定理由	(1) 和田嘉衡が国産第一号のブルドン管圧力計を作ったときに使用した金敷と金槌である。ブルドン管（加えられた圧力の大きさに応じてわずかに変位する管）に関する情報は殆どない中、和田は艦船や工場、さらには飾り職人、鍛冶職人を訪ね歩いて情報を蒐集した。試行錯誤の連続で、中でもクリープ現象に悩まされた。和田は材料を金槌で叩くことによって克服したが、打面の面積や打撃の強さを変えるなど、種々のことを試みた。こうして遂に国産第一号を完成させた。本資料は和田がこの間使用し続けた貴重なものである。 (2) 和田が創立した和田計器製作所が、それまでの金敷と金槌を用いたブルドン管を機械装置で作れるようにしたブルドン管成形機である。経験と勘による製作に、機械を導入することにより、製品の品質が安定するようになったという点で、ブルドン管発展史の時代を画する資料である。
登録基準	1 - イ

公開・非公開	公開
写真	  <p>(1) 金敷と金槌</p> <p>(2) 3本ローラー式ブルドン管成形機</p>
その他参考となるべき事項	



# 重要科学技術史資料

Essential Historical Material for Science and Technology


## 登録証

Certificate of Registration

ブルドン管圧力計の成形機  
名 稱 (1) 金敷と金槌  
(2) 3本ローラー式ブルドン管成形機  
登録年月日 平成23年9月27日


登録番号 第00075号

重要科学技術史資料として登録されたことを証します。

 国立科学博物館  
National Museum of Natural Science

重要科学技術史資料  
Essential Historical Material for Science and Technology

第00075号

 国立科学博物館  
National Museum of Natural Science